

●Takaoのアプローチ **3 技術力 「自社工場での製作」**



福山本社 第一工場

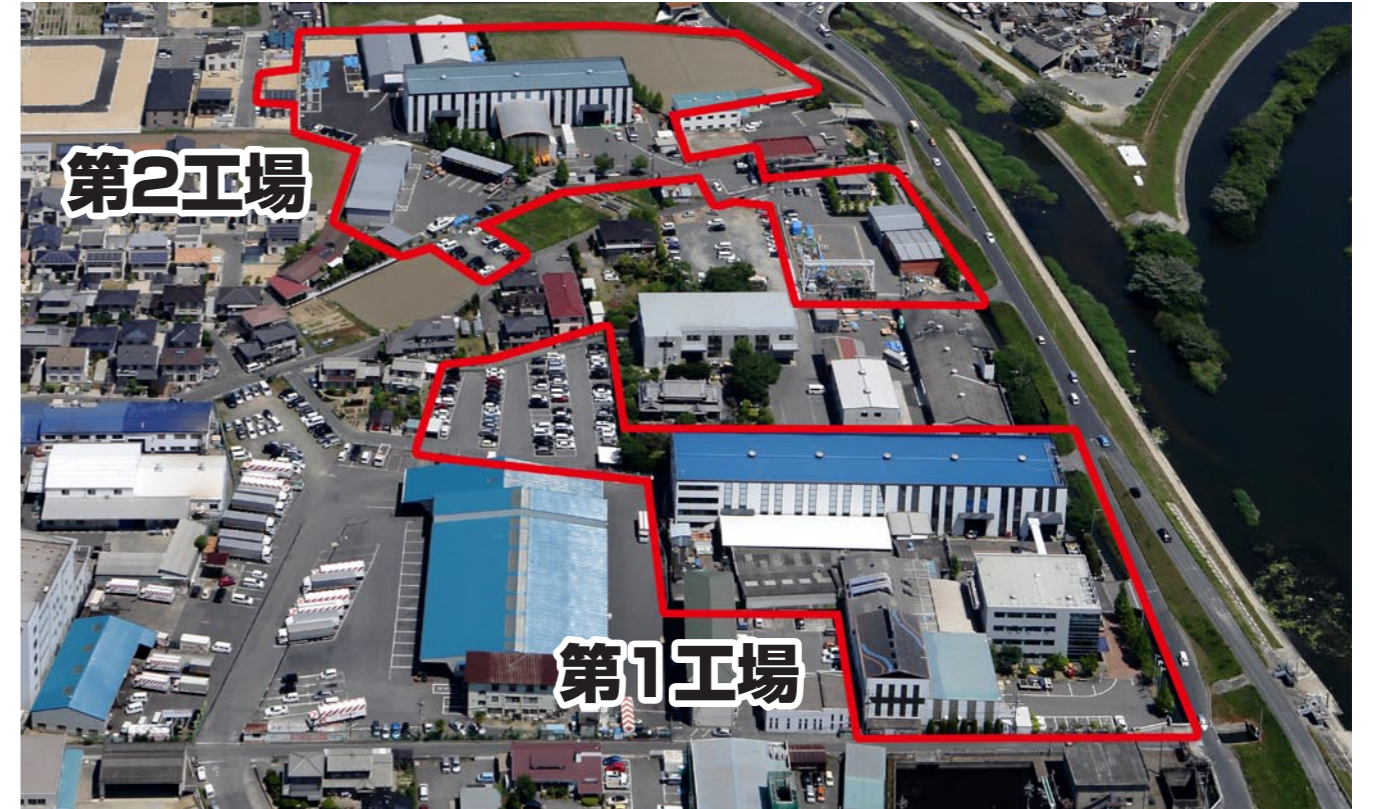
見てのとおり、オートメーションの生産ラインはひとつもないんです。

タカオの工場に足を踏み入れただけで分かっていたのですが、言うなれば、ちょっと大きな鉄工所。ハンマーで鉄板をたたく人、溶接する人、研磨する人、塗装をする人、組立をする人など、そこに生産ラインと呼ばれる機械は一切ありません。すべて受注生産で手作業のため月間の製作数には限りがあります。

一方で新製品の開発現場も、実にアナログな風景です。試作品に定規をもったクラフトマンと設計者が2人で、ああでもない、こうでもない話し合いながら新製品が誕生する。タカオの工場を動かしているのは、機械や設備ではありません。若きクラフトマ

ンたちの大きな夢です。子ども達の笑顔のために、丁寧に心をこめて製品をつくる。工場はいつでも一般公開しています。製品が出来上がるまでを子ども達にも見せてあげたいと考えるからです。「他社に技術を盗まれる心配は？」今どき、こんなアナログなやり方で採算が取れる時代ではないのでマネする人はいません。大量生産と効率化によって利益を追求することが正義とされてきた消費社会。そんな中、自分たちが信じるモノだけをまっすぐに心をこめて創る。決して多くはないが強く太くつながるお客様がいる。ある意味モノづくりの原点回帰ともいえる。むしろ、新しいモノづくりのあり方のような感じがしている。

●Takaoのアプローチ **3 技術力 「一貫生産→施工→メンテナンス」**



福山本社 工場全景写真

